

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事報告

- 11月 4日(祝) 茨城県北ジオツアーへ参加 15名
- 11月 5日(火) 第7回『下仁田ジオ・歴史遺産応援団』 模擬ガイド実習13名
- 11月 7日(木) 東京都練馬区豊玉小学校 ジオツアー69名
- 11月 8日(金) 下仁田小学校6年生 虻田地層見学 50名
- 11月 9~10日 サイエンスアゴラへブース出展
- 11月12日(火) 清里公民館学習グループ連絡協議会 ジオツアー41名
- 11月14日(木) 春日部高校 ジオツアー10名
- 11月15日(金) 開智未来中学校 ジオツアー134名
- 11月16日(土) 駅からハイキング 104名
- 11月23日(祝) 『第2回農業祭・下仁田ねぎ祭り』へ
ブース出展
- 11月24日(日) すみ子会 ジオツアー5名



▲袋田の滝



▲下仁田ねぎ祭り

自然史館の利用他

- 11月6~7日 史跡 荒船風穴電気探查
- 11月11日 史跡 荒船風穴調査

ネギとコンニャク・ジオパーク 『群馬県におけるコンニャク栽培の歴史』

明治9年(1876)には、常陸国に商用で出掛けた富岡の篠原栄吉が、同地方のコンニャク水車による荒粉からの製粉方法を見聞し驚いた末、当地方にも広めようとの考えから常陸国の斎藤周造を連れてきて、砥沢にコンニャク水車を造っています。

明治22年(1889)には、下仁田町森沢に桜井英範が常陸国から水車大工を連れてきてコンニャク水車を造っています。以後、水車が次々と出来てコンニャク業が発展していきます。

南牧村では、同22~23年(1889~1890)にかけて茂木平八がコンニャクの値が急騰したことをうけて栽培をひろめ、地域の人々へ栽培方法を伝授して生産を高めたといわれています。また、自然生栽培(ジネンジョサイバイ)よりも、コンニャク玉を冬季貯蔵して春に植え付ける「植え玉栽培」による方法が、より収穫量を増やすことを実証し啓発しています。このような立派な指導者のあったことは高く評価すべきことです。

以上のような経路を経てコンニャク栽培が一層の広がりを見せてきたことを裏付けるものとして、明治38年(1905)の群馬県内のコンニャク栽培面積を記した資料(群馬県文化事業振興会1983)があります。

昭和23年(1948)には、農業改良事務所、農業協同組合等が設立され、農業への技術指導、資金融資、物資の斡旋等の支援も盛んになって、新たな農業への第一歩を歩み出しました。コンニャク栽培も軌道に乗ってきて、同30年(1955)には、全国のコンニャク生産量は群馬県が第1位を占めました。以後、第1位を独走する状況にあります。

高度経済成長期には農業の機械化も進められました。今まで手作業で実施してきた畑の作業にも、耕耘機、コンニャク芋の植え付け機、掘取機、自動噴霧器、トラクター等が次々に開発導入され、その結果ますます栽培面積を伸ばしました。

同41年(1966)には「ハルナクロ」、同45年(1970)には、「アカギオオダマ」等の新品種が育成されて、栽培地が平坦地の渋川市、昭和村方面へ移り変わって行きました。同45年(1979)には、「下仁田町の新しい農業を進める会」が発足して、今後の農業のあり方の方策が検討されていきました。平成9年(1997)には、「ミョウギユタカ」、同17年(2005)には、「ミヤマサリ」等の新品種も育成されました。

このようにしてコンニャク栽培地は平坦地へと移行して、山間地のコンニャク栽培は減少の一途をたどりました。下仁田町はコンニャク業者、問屋等も多く、晩秋には、県内のコンニャク産地から下仁田町へとコンニャク玉が運び込まれて集散地となっています。

下仁田町には、群馬県蒟蒻原料商工業協同組合事務所があって、日本こんにゃく協会との連携を図っています。同事務所玄関前には、昭和40年(1965)に同事務所創立50周年を記念して建立した「こんにゃくの碑」があります。

(2012.12.14発行 下仁田自然学校文庫6「名産 下仁田コンニャク」から)



▲こんにゃく芋



▲こんにゃく畑

第2回農業祭・下仁田ねぎ祭り

昨年に続き下仁田ねぎ祭りへ『世界遺産候補 史跡 荒船風穴・下仁田ジオ応援団』としてブースを出展しました。

下仁田倉庫でDVD放映や下仁田ジオパーク関連商品の販売、また会場を囲むように下仁田中学校2年生が描いてくれた下仁田ジオパークののぼり旗を飾りました。



▲下仁田中学校2年生作成のぼり旗



▲下仁田ジオパーク関連商品



※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070

年金

源泉徴収票が
送られます



老齢を支給事由とする年金を受けている方には、1月中旬から下旬にかけて日本年金機構から『公的年金等の源泉徴収票』が送られます。この源泉徴収票には、昨年の1月から12月までの2年間に支払われた年金額、源泉徴収された税額、控除の内容が記載されています。年金以外の収入があるなどの理由で確定申告をする方は、申告手続きをする際にこの源泉徴収票が必要になります。

もし、1月末日までに源泉徴収票が届かない場合や紛失してしまった場合には、ねんきんダイヤル又は、高崎年金事務所までお問い合わせ下さい。

なお、遺族年金、障害年金には税金がかかりませんので、これらを受給している方には源泉徴収票は送られません。

源泉徴収票についてのお問い合わせ
ねんきんダイヤル
☎0570-05-1165 (IP電話・PHSからは☎03-6700-1165)
高崎年金事務所国民年金課
☎027-322-7731

110番通報のお願い

110番通報は、警察への緊急電話です。あなたの素早い通報が、事件・事故等の早期解決につながります。110番を正しく利用して安全・安心なまちづくりをしましょう!

◎110番のポイントは

- ★いつ、どこで? ★何がありましたか? ★どんな様子ですか?
- ★犯人を見ましたか、犯人の服装は、乗り物は、逃げた方向は?
- ★あなたのお名前は、電話番号は?

◎相談や照会には#9110を利用してください

相談や照会に110番を利用されますと、110番回線数の都合もあり、緊急電話に対応できなくなってしまいます。問い合わせや相談などは、お近くの警察署又は「#9110」へ電話してください。

